

愛されて生きる



大阪YMCAは1997年4月に社会福祉法人を設立し、高齢者支援センターサンホームを皮切りに、大阪市にさぼり保育園、あわぎ保育園を開設しました。地域の課題に対応し、現在、デイサービスと居宅介護支援事業所を有するYMCAこさか、高槻市にはたかつきあま保育園など、5施設を運営しています。

人は誰しも、生まれ、成長し、老いて、天に召されます。それは神様が定めておられ、抗うことはできません。そして「愛されて生きる」ことも神様は示しておられます。

保育園には、乳幼児が保護者とともに毎朝登園します。保育者は子どもの発育の様子を細やかに観察し、いつも次を準備し、何に興味を持って「やりたい、やろう」とするのか、子どもの主体性を大切に保育を行っています。また、子育て支援拠点事業「ぶどうの木」では、大都市の失われたコミュニティの中での子育て

が、いかに不安で難しいものかを実感しつつ、不安に寄り添った相談・対応を行っています。

サンホームには、特別養護老人ホーム(50名定員)があり、平均年齢は86歳で、100歳以上の方もいらっしゃいます。お一人おひとりがどのような人生を歩んでこられたか、そして今の状態を把握し、求められることだけではなく、心の声にも耳を傾けたケアを行っています。また、短時間リハビリデイサービスや地域の体操教室など、フレイル予防を目指した取り組みも開始しました。さらに、高齢者だけではなく、ウエルネス事業と協働し、放課後にコースボランティアリーダーと地域の子どもたちが一緒に過ごす「子どもひろば」も行っています。

今日、私たちを取り巻く環境は刻々と変化し、前へ前へと否応なく突き進んでいるかのようです。しかし、介護離職や保育園待機児童など、多様な社会課題が取り上げられてい

ます。聖書に「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマの信徒への手紙12章15節)とあります。人が生きる上で欠かせないもの、それが社会福祉であり、誰もが安心して暮らすことができるように、「生きる」ことに寄り添った働きです。0歳から100歳を超える方々が「愛されて生きる」人生に心からの愛を持って関わることは、その一人ひとりが他の誰かを「愛して生きる」ことにつながると信じています。これからも、社会や地域の課題に向き合い、人に寄り添う働きを行って参ります。



大阪YMCA社会福祉事業部
責任者

すぎむらとる
杉村 徹

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神はくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

地域に開かれたYMCAとして



よした えり
YMCAこさか 所長 吉田 絵理

YMCAこさかは、デイサービスとケアプランセンターを運営し、地域の高齢者支援を行っています。日々の介護支援の他に、同じ敷地内の日本基督教団小阪教会の方々や地域の子どもたちと、夏は流しそうめんやスイカ割り、秋にはピザづくり、冬にはクリスマス会など、季節のプログラムを一緒に楽しんでいます。小学生から高齢者まで多世代が交わり賑やかで、流しそうめんの際には、「あー、そうめんが流れていったあ」「トマト取れた!」と歓声が上がり笑顔が溢れます。

また、地域活動の一つとして、社会福祉協議会と防災についての勉強会を開催し、さらに隔月開催の認知症サポーター養成講座は、東大阪市の広報紙にも掲載され、多くの方々にご参加いただいています。これからも地域に開かれ、人と人がつながるYMCAとして歩んで参ります。



保育園から幼保連携型認定こども園へ



あきやま けんじ
YMCAたかつきあま保育園 園長 秋山 健二

YMCAたかつきあま保育園は、2020年4月1日より幼保連携型認定こども園へ移行しました。認定こども園は教育と保育を一貫して行う施設です。保護者の就労状況に関わらず利用が可能になり、子どもの社会性を育むことや、従来よりも地域における子育て支援を幅広く行えるようになりました。

YMCAたかつきあま保育園では、高槻地域における子育て支援活動「このゆびとまれ!」を実施しています。今年度も保護者セミナーや育児相談等を予定していましたが、新型コロナウイルスにより実施を見送っています。このような状況の中で家族の「おうち時間」を大切に、大人と子どもと一緒に楽しめる取り組みをリーフレットやSNSを用いて情報発信しています。



ウェルネス事業と協働したWEB運動講座



みやほらまなぶ
YMCAサンホーム 施設長 宮原 学

デイサービスセンター サンホームには、要介護の方やリハビリのために、毎日約30人の方が来られます。入浴などの介助や看護師による運動指導などを通して、利用者の「生きる」ことに寄り添っています。また、新型コロナウイルスによって落ち着かない生活が続く中で、利用者の優しい表情や笑顔を見ると、私たちも利用者や地域の方々に支えられていると感じます。

高齢者の方は身体の機能が低下しやすいといわれています。各自治体では、日々の健康を維持するために自宅でも簡単に行える運動を、

リーフレットや動画などを用いて配信する取り組みを行っています。

外出が制限される状況だからこそ、人とつながり、コミュニケーションを楽しむことが求められています。私たちは、フレイルを予防するために、「身体を動かすこと」、「笑うこと」がとても大切だと考えています。サンホームとYMCAこさかでは、ウェルネス事業と協働し、WEBを通じて双方向のやり取りができるプログラムを開始しました。多くの方が在宅生活を余儀なくされる中で、一方的な映像を通してではなく、「お互いの顔を見て、声を聞きたい。楽しく健康維持に取り組みたい」と考えています。YMCAだからこそできる、ウェルネス事業と社会福祉事業の専門性を活かしたプログラムにご期待ください。



はなれていてもつながっているキャンペーン

新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み

YMCAスポーツ広場



いのち たけし
猪口 武志
広域開発事業 グループ長補佐

スポーツの本質は、「気分転換・ストレス解消、遊び・楽しいこと」にあります。残念ながら、新型コロナウイルスの影響で、子どもたちは自由にスポーツをすることができなくなりました。多くの公園でボール遊び禁止という看板が掲げられている中、大阪YMCAがグラウンドを確保し、ボール遊び等の自由に子どもたちがスポーツをできる場所として、YMCAスポーツ広場を3月に開催しました。大阪府下(高槻市・茨木市・大阪市・八尾市)のグラウンドで開催し、のべ800人の子どもたちが思い思いにスポーツを楽しみました。子どもたちは笑顔いっぱいスポーツの本質をからだ全体で表現し、からだを動かすことができる喜びを一杯感じているようでした。保護者からは「子どもに元気が戻りました!」という声をいただきました。

YMCAはどんなときでも、少しでも子どもたちの日常がよくなるような活動を進めて参ります。



幼稚園動画メッセージ配信



のだす がこ
YMCA松尾台幼稚園 園長 野田 寿加子

新型コロナウイルスの影響で、こども園は例年のように開園することができず、自粛しながら、保護者が医療従事者等の保育の必要性がある子どもの受け入れのみを行うこととなりました。今は感染拡大防止の対策に取り組みながら、子どもたちの健康と安全を守ることに集中した日々を過ごしています。

そんな生活に制約のある中、「何か今できることをしたい」、「離れていても子どもたちとつながりたい」という一人ひとりの保育者の想いから、各家庭に「お楽しみ動画」を配信しています。予定していた4月の入園式の日から毎日、歌や手あそび、手洗いダンス、家でできる簡単な運動遊びなどの内容で配信しています。また、離れていても子どもたちが保育を体験できるように、季節の歌や予定していた絵本の読み聞かせなども行い、イースターの日にはチャプレンからのお話とお祈りで礼拝を守り、誕生会の日にはお祝いの「お楽しみ」を配信しました。

それでも、お友だちに未だに会えない子どもたちの心もちに想いを馳せ、園に行くことを楽しみにしている表情を思い浮かべると、平安な日常が一日も早く戻ってくることを祈るばかりです。その日まで私たちはメッセージを送り続けます。子どもたち、保護者の皆さま、そしてYMCAがつながり、ともにまた、笑顔で会えることを楽しみに待っています。



きみもげんきだせよ



Y M C A

六甲山YMCA無料開放 ~カヌー体験プログラム~



はやしけん じ ろう
六甲山YMCAグローバルラーニングセンター 事業長 林 健児郎

いつもとは違う控えめな歓声が、六甲山YMCAの「星の池」に静かに響きます。一列に座ってカヌーを漕ぐ子どもたちの表情は、マスクに隠れて見ることはできません。その代わりに、湖面に広がっていく幾重もの波紋が、心から湧き出る「楽しいな!」という気持ちを表しているようでした。

3月14日(土)から30日(月)までの間、新型コロナウイルスの集団感染防止のため、臨時休校により家で過ごさなければならなくなった子どもたちを対象に、カヌー体験プログラムを実施しました。この活動は、神戸市が公募した屋外活動助成事業の採択を受けたもので、子どもたちの安全な居場所づくりと心のケアが目的です。人数制限や検温、備品消毒、ソーシャルディスタンスなど、感染予防対策を講じた運営や指導を行い、14日間で合計90人の親子が安全に活動を楽しみました。

感染拡大収束後には子どもたちに楽しく安全な野外活動を提供できるよう、準備を進めています。



大阪南YMCA70周年を迎えて

大阪南YMCA 館長 **藤岡 宏樹** ふじおか ひろき



今から70年前の1950年4月15日、大阪南YMCAが創立されました。終戦から5年後のことです。

当時の奈良伝総主事が、都心にとどまらず周辺居住地域に根ざした活動を活発に展開しているアメリカのYMCAの活動に刺激を受け、戦後のYMCA復興事業の一つとしてランチ活動を構想しました。その第1号が、「大阪YMCAアベノ橋ランチ」、現在の「大阪南YMCA」です。諸先輩方の熱き思いがこもった、この日本で最初の地域YMCAは、その後、青少年活動（現在のウエルネス活動）、英語学校、予備校、通信制・単位制高校、日本語学校と、時代ごとの社会的課題に取り組んできました。

現在まで一貫して取り組んできたことは、「人を育む」ことでした。それぞれの事業に関わる青少年はもちろんのこと、地域の人々とも積極的に関わり、地域から世界の課題まで自分事として考えられるリーダーシップを育ててきました。

本来であれば記念会を開催し、地域活動を推進していくためにともに祈りたいと願っておりました。今回は、新型コロナウイルス感染予防のために開催できませんでしたが、これからも地域とともに歩むYMCAとして成長していくことのできるようお支えください。

光ある明日に向けて共に歩みを強めましょう。



食育コラム

vol.63

野菜を食べよう



YMCAとさぼり保育園 スタッフ **山中 淳子** やまなか じゅんこ

食育推進基本計画が全国の自治体で推進されています。今年度、大阪市第3次食育推進計画の共有テーマは「野菜を食べよう」です。

1日の野菜の摂取目標量は350g以上（緑黄色野菜120g+その他の野菜230g=350g）なのですが、「350g以上」と言われても分かりづらいですね。そこで、自分の手を使った「手ばかり（秤）」を紹介します。1食あたり生野菜なら両手いっぱい、茹で野菜なら片手にのる量になります。これなら小さな子どもから高齢の方まで、1食分の野菜量が簡単に量れます。

そして今回は、保育園の子どもたちがよくおかわりをする野菜メニューも紹介します。白すりごまと醤油のみのシンプルな味付けながら、乳児から幼児までよく食べてくれる1品です。大人1人あたり約65gの野菜が摂取できます。

☆ゆで野菜のサラダ☆

《材料》大人4人分

- ◎キャベツ ----- 大きめ1.5枚 (80g)
- ◎じゃがいも ----- 中1個 (80g)
- ◎ブロッコリー ----- 1/8株 (50g)
- ◎にんじん ----- 中1/2本 (50g)
- ◎薄口醤油 ----- 小さじ2
- ◎白ごま ----- 大きじ1.5



《作り方》

- ① キャベツは2cm角のざく切り、じゃがいもとにんじんは小さめの乱切り、ブロッコリーは小房にそれぞれ切って、茹でておく。
- ② 白ごまをすって醤油と混ぜ合わせ、①の野菜を加えて全体を和える。

「憲法記念日知事表彰」受賞

大阪YMCA Yボランティア（会員）の川岸清さんが、大阪府知事から青少年活動の普及向上に貢献した功労者の一人として表彰を受けられました。川岸さんは、30年以上の長きにわたりボランティアとしてご奉仕されました。特に高槻茨木地域において様々な委員を歴任し、青少年の育成、地域支援者の発掘にもご活躍されました。

また、どんぐりクラブは26年に渡る、発達や情緒障がいのある子どもを対象としたキャンプ活動等の働きが認められ、功労団体として表彰を受けました。

新型コロナウイルスの影響により、残念ながら今年度の「憲法施行記念式並びに表彰式」は中止になってしまいましたが、後日、吉村洋文大阪府知事からの表彰状を、各受賞者が受け取られました。この度の授賞を心よりお喜び申し上げます。



どんぐりクラブの皆さま(昨年、大阪YMCA大会で特別賞を受賞された時の写真です。)

大阪YMCA早天祈祷会

■第326回 日 時...2020年6月19日(金) 7:30~8:30

証 し...橋本 健さん
(大阪YMCA国際専門学校高等課程
表現・コミュニケーション学科 スタッフ)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

※新型コロナウイルス感染症の状況により、中止の可能性があります。

会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2020年4月度報告・敬称略

【継続会員】

飯田 春菜
飯沼 真
池田 和弘
石原 福造
伊藤 正尚
井上 佑起子
今井 利子
岩井 錠治郎
上西 卓
宇野 義男
大村 肇
大藪 暢子
加計 純子
北村 知三
北山 弘信

國友 朝子
栗田 達夫
齋藤 中哉
阪口 千穂
佐川 隆二
佐藤 祐規子
芝田 光雄
嵐岡 正明
島田 恒
杉浦 真喜子
隅田 保
高橋 淳子
竹花 マリ子
田原 久美子
富賀 理恵
中村 茂高

中村 勝吾
西野 陽一
西村 耕
西村 博子
秋原 義明
日野 多栄子
藤井 みどり
藤好 基子
松尾 博之

【継続賛助会員】

株式会社サンケイビルマネジメント
株式会社ジャパンビレージウエスト
双葉電気通信株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

